



**Hewlett Packard**  
Enterprise

Windows Server® 2012 Standard お  
よび Windows Server® 2012 R2  
Standard 用プリインストールオペ  
レーティングシステムソフトウェア  
ユーザーガイド

部品番号: 481182-198  
2016年3月  
第7版

# 目次

1 操作に関するヒント	4
2 ご注意	5
3 概要	6
はじめに	6
特長	6
4 情報の収集	8
出所に関する証明書	8
5 インストール	9
オペレーティングシステムのインストール前に	9
オペレーティングシステムのインストール	9
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard	9
署名済みドライバ	19
新しいハードウェアの検出ウィザード	20
自動設定	20
6 インストール後の作業	22
Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard	22
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard の管理者パスワードの変更	22
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard の地域設定の変更	22
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard 用の Microsoft インターネットインフォメーションサービスのインストール	23
Integrated Lights-Out 管理機能のインストール	24
ディスクドライブの設定	24
追加のページファイルの作成	25
テープドライブのインストール	25
イベントログエラー	26
サーバーのバックアップ	26
ネットワークプロトコルの設定	26
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard のリモートアクセスサーバーのセットアップ	26
Java Virtual Machine のインストール	27
BitLocker ドライブ暗号化の有効化	27
Hyper-V のインストール (Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard の場合)	29
7 Hewlett Packard Enterprise メディアを使用した、Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムの仮想マシンへのインストール	30
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard へのゲストオペレーティングシステムのインストール	30
Hewlett Packard Enterprise ブリインストール ProLiant サーバーまたは Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD からインストールされた ProLiant サーバーの場合	30
Hewlett Packard Enterprise ブランドでない Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD の場合	31
Hewlett Packard Enterprise ブランドの、または Hewlett Packard Enterprise ブランドでない Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD の Smart Start/Intelligent Provisioning の自動インストールの場合	32
VMware 仮想マシンでのインストール	32

<b>8 HPE ProLiant シリーズサーバーのインストール後の作業</b> .....	<b>33</b>
Web ベースマネジメントユーティリティ (HPE System Management Homepage) .....	33
HPE マネジメントエージェントのインストール.....	33
ネットワークチューニングおよび設定ユーティリティのインストール.....	33
HP Smart Update Manager (HP SUM) の使用.....	33
アレイコントローラーの設定.....	34
マネジメントエージェントの使用.....	34
<b>A トラブルシューティング</b> .....	<b>35</b>
オペレーティングシステムの再インストール.....	35
<b>9 サポートと他のリソース</b> .....	<b>36</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	36
アップデートへのアクセス.....	36
Web サイト.....	37
Hewlett Packard Enterprise カスタマーサポート .....	37
カスタマーセルフリペア.....	37
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	37
<b>B 頭字語と略語</b> .....	<b>39</b>
<b>索引</b> .....	<b>40</b>

# 1 操作に関するヒント

## HTML 文書間の移動

文書間を順に移動するには、次の操作を行ってください。

- 次の項目に進むには、[次へ]の矢印(→)をクリックします。
- 前の項目に戻るには、[前へ]の矢印(←)をクリックします。

インターネットブラウザのツールバーを使用して移動するには、次の操作を行ってください。

- 最後に表示したページに戻るには、ブラウザツールバーの**[戻る]**ボタンをクリックします。

## Hewlett Packard Enterprise の Web サイト上のドキュメントへの移動

- 特定のサーバードキュメントを表示するには、このガイドに記載された URL に移動した後、何度か選択を行わなければならない場合があります。
- 技術資料、セルフヘルプ、ライブチャットアシスタンス、IT エキスパートのコミュニティフォーラム、テクニカルナレッジベース、リモート監視および診断ツールにオンラインアクセスするには、<http://www.hpe.com/support/hpesc> に移動してください。
- 特定の技術資料の最新バージョンを入手するには、<http://www.hpe.com/info/docs> に移動してください。

## 2 ご注意

© Copyright 2008, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり。その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動しません。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

Microsoft®および Windows®は。米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

### 対象読者

このドキュメントは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし。コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

## 3 概要

### はじめに

#### ① 重要:

- ご使用のサーバーにオペレーティングシステムがプリインストールされている場合は、初めてサーバーの電源を入れるときに HPE SmartStart DVD、Service Pack for ProLiant、または HPE Intelligent Provisioning から起動しないでください。SmartStart DVD または Intelligent Provisioning は、オペレーティングシステムを再インストールするときのみ使用してください。
- オペレーティングシステムのインストールを完了してから追加のハードウェアオプションをインストールしてください。

このガイドでは、次のプリインストールオペレーティングシステムのインストールを完了するための手順を示します。

- Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard
- Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard

Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムの最新のユーザーガイドは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** からダウンロードできます。

### 特長

オペレーティングシステムは、サーバーの出荷前に、サーバーのディスクドライブにあらかじめロードされています。また、最新ドライバーもサーバーのディスクドライブにダウンロードされ、あらかじめロードされたオペレーティングシステムに統合されています。

サーバーのオペレーティングシステムの通常のインストールプロセスは、サーバーにあらかじめロードされているため短縮されます。インストール時間は約 30 分ですが、DVD による平均的なインストール時間では 90 分にもなります。ご希望の言語、管理者パスワード、オペレーティングシステムのパーティションサイズといったユーザー固有情報は、インストールプロセス中に入力する必要があります。

Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard および Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard 用プリインストールソフトウェアには、次の特長があります。

- すぐに実行できます。セットアップウィザードの指示に従って Hewlett Packard Enterprise 独自のコンポーネントをインストールし、可能な範囲で設定します。必要なオペレーティングシステムの再起動が数回行われた後に、Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard または Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard のインストールが完了し、必要なユーザー設定を実行できます。
- ネットワークプロトコルの TCP/IP を設定済みです。このサービスは、効果的なネットワーク管理に必要です。このサービスによって、HPE マネジメントエージェント for サーバーが HPE Systems Insight Manager と通信できます。

HPE ProLiant Gen8 サーバーおよびそれ以降の製品では、Agentless Management Service (AMS) および WBEM Providers がデフォルトでインストールされています。

AMS について詳しくは、**HPE Systems Insight Manager 7.0 and HPE Agentless Management overview** (英語) を参照してください。

WBEM について詳しくは、**<http://www.hpe.com/info/insight-wbem>** を参照してください。

- オペレーティングシステムアクティベーション – Hewlett Packard Enterprise から直接購入した場合、その製品はアクティベーション済みです。Hewlett Packard Enterprise がオペレーティングシステムをアクティベーションしているため、お客様がアクティベーション

ンを行う必要はありません。お近くの製品販売店でこの製品を購入した場合は、Microsoft に直接電話で連絡して、インストールから 60 日以内にオンラインで製品のアクティベーションを完了する必要があります。オペレーティングシステムのインストール時には、アクティベーション手順に従ってください。アクティベーションまたは有効期間の延長について詳しくは、Microsoft® ナレッジベースまたは **HPE FAQ for Microsoft OEM licensing—Windows Server** を参照してください。

- マネジメントエージェント for サーバーをインストールして、サーバーを即座に管理できます。マネジメントエージェントは、サーバーの性能と設定およびオペレーティングシステムの性能を監視します。マネジメントエージェントは、障害発生時にアラートを発行してユーザーに影響が及ぶ前に問題の発生を防ぎます。
- NTFS を設定済みです。Microsoft® Windows Server®™ 2012 Standard および Microsoft® Windows Server®™ 2012 R2 Standard の多くの新機能では、Microsoft® Active Directory を使用してサーバーをドメインコントローラーにする場合などに、NTFS が必要です。また、NTFS は優れたセキュリティ機能を提供します。サーバーを正しく設定し、ネットワークインフラストラクチャ内で Microsoft® Windows NT™ の旧バージョンと併用して、Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard または Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard で NTFS を使用する方法については、Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard または Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard および Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard について詳しくは、**Hewlett Packard Enterprise の Web サイト** または **Microsoft の Web サイト** を参照してください。

## 4 情報の収集

### 出所に関する証明書

- ① **重要:** COA ラベルがサーバーのどこに貼付されているかを確認し、後で参照できるようにプロダクトキーを記録しておいてください。

COA ラベルは、次の目的に使用されます。

- ライセンスを確認し、Microsoft® アップグレードプログラムを使用して、プリインストールオペレーティングシステムをアップグレードします。
- オペレーティングシステムに回復不能な障害が発生したときに、オペレーティングシステムを再インストールします。

COA ラベルの貼付位置は、サーバーのモデルによって異なります。ラックマウント型サーバーモデルでは、COA ラベルは、右側のサイドパネルの前部またはトップパネルの前面側の右隅にあります。タワー型モデルでは、COA ラベルは、サーバーのトップパネルの後部にあります。

**注記:** ここに示すプロダクトキーは一般的な例であり、実際に購入された製品のプロダクトキーと異なる場合があります。



COA END ITEM: Windows Svr Standard ROK 2012 R2 x64 English ORY OEI 2CPU/2VM  
製品ファミリ名: Windows Server 2012 R2

**注記:** プロダクトキーは、工場出荷時にサーバーにすでにインストールされているため、オペレーティングシステムを最初にインストールする際には不要です。

サーバーを最初にインストールし、COA ラベルを簡単に確認できるときに、次の欄にプロダクトキーを記録しておいてください。

ご使用のサーバーの製品ID番号
-----------------

ProLiant サーバーでの Windows Server® オペレーティングシステム製品のライセンスについて詳しくは、『[HPE FAQ for Microsoft OEM licensing—Windows Server](#)』を参照してください。



# 5 インストール

## オペレーティングシステムのインストール前に

---

① **重要:**

- サーバーのユーザーガイドの説明に従ってサーバーのハードウェアを接続してから、サーバーの電源を入れて、オペレーティングシステムソフトウェアを設定してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、追加のハードウェアデバイスを取り付けしないでください。
  - オペレーティングシステムのインストール後に Hewlett Packard Enterprise のドライバーファイルを指定するように要求されたら、パスとして `C:\Drivers` を入力してください。ドライバーファイルは、このパスのサブディレクトリにあります。ディレクトリを確認するには、**[参照]**をクリックしてください。
  - ソフトウェアのインストールを正常に完了するため、TCP/IP サービスをインストールし、サーバーをアクティブなネットワークに接続する必要があります。
  - **BIOS ベースサーバーの場合**、Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムは、3~4 つのパーティション（それぞれ、1 GB、20 GB、および 4 GB）に分かれています。1 GB パーティションはシステム専用であり、非表示になっています。この 1 GB のシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。3 番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。
  - **UEFI ベースサーバーの場合**、Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムは、5 つのパーティション（それぞれ、300 MB、1 GB、128 MB、20 GB、および 4 GB）に分かれています。リカバリパーティションの 300 MB、EFI パーティションの 1 GB、MSR パーティションの 128 MB は、システム専用であり、非表示です。これらのシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。5 番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。
- 

## オペレーティングシステムのインストール

### Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard

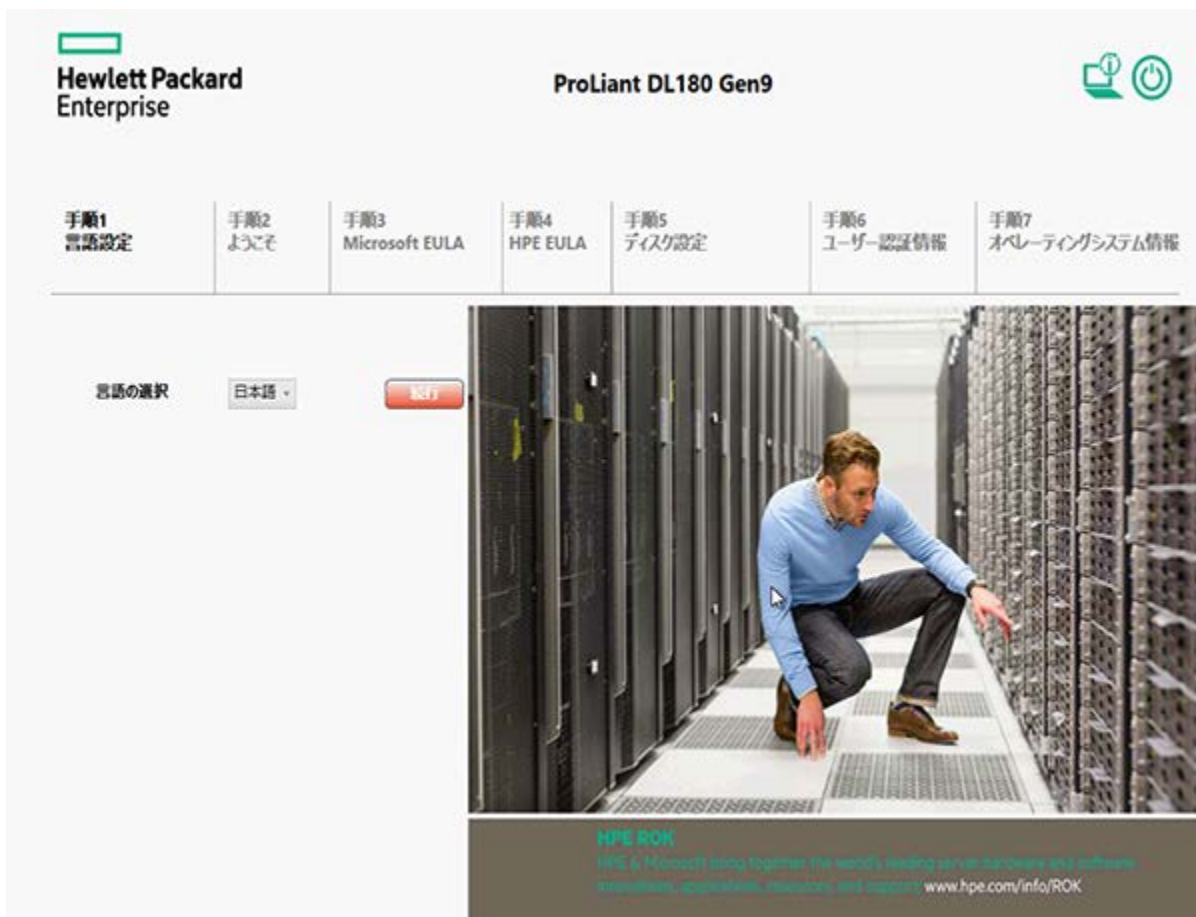
Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard をインストールするには、以下の手順に従ってください。

---

**注記:** 以下に示すスクリーンショットは一般的な表現であり、ご使用のサーバーにインストールされた特定のオペレーティングシステム用の表現でない場合があります。

---

1. サーバーの電源を入れます。
2. オペレーティングシステムが MUI の場合は、希望する言語を **[地域の設定]** ページの下で選択するよう求められます。適切な言語を選択し、**[続行]**をクリックします。



3. 初期画面で Service Pack レベルの選択を求められる場合は、必要な Service Pack レベルを選択し、適切なキーを押して続行します。
4. **[続行]**をクリックします。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

ProLiant Serverをお買い求めいただきまして  
ありがとうございます

このサーバーは工場出荷時にソフトウェアがインストールされています。  
ソフトウェアのインストールを完了するには、『プリインストール オペレーティングシステム ユーザーガイド』  
の説明を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/windows/documentation>

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサービスについては、以下のサイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/contact>

続行

5. [Microsoft EULA] をクリックします。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

"The Microsoft® Windows® Preinstallation Environment software included with this computer or software may be used for boot, diagnostic, setup, restoration, installation, configuration, test or disaster recovery purposes only.  
NOTE: THIS SOFTWARE CONTAINS A SECURITY FEATURE THAT WILL CAUSE END USER'S SYSTEM TO REBOOT WITHOUT PRIOR NOTIFICATION TO THE END USER AFTER 24 HOURS OF CONTINUOUS USE."

Microsoft EULA

6. **[END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT WINDOWS PREINSTALLATION ENVIRONMENT]** を読み、**[同意します]** を選択して Microsoft 社の使用許諾契約書に同意し、**[続行]** をクリックします。



手順1  
言語設定

手順2  
よろこ

手順3  
Microsoft EULA

手順4  
HPE EULA

手順5  
ディスク設定

手順6  
ユーザー認証情報

手順7  
オペレーティングシステム情報

END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT WINDOWS PREINSTALLATION ENVIRONMENT

**IMPORTANT-READ CAREFULLY:** This End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and the manufacturer ("Manufacturer") of the special purpose computing device ("SYSTEM") you acquired which includes certain Microsoft software product(s) installed on or for use with the SYSTEM ("SOFTWARE PRODUCT" or "SOFTWARE"). The SOFTWARE includes computer software, the associated media, any printed materials, and any "online" or electronic documentation. Any software provided along with the SOFTWARE PRODUCT that is associated with a separate end-user license agreement is licensed to you under the terms of that license agreement. By installing, copying, downloading, accessing or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, Manufacturer and Microsoft Licensing, Inc. ("MS") are unwilling to license the SOFTWARE to you. In such event, you may not use or copy the SOFTWARE, and you should promptly contact Manufacturer for instructions on return of the unused product(s) for a refund.

**SOFTWARE LICENSE**

The SOFTWARE is protected by copyright laws and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE is licensed, not sold.

**1. GRANT OF LICENSE.** This EULA grants you the following rights:

Software. You may only install, use, access, display and run one (1) copy of the SOFTWARE PRODUCT on the SYSTEM only as a boot, diagnostic or disaster recovery tool for the Customer System and not for use as a general purpose operating system.

**2. DESCRIPTION OF OTHER RIGHTS AND LIMITATIONS.**

- Limitations on Reverse Engineering, Decompilation and Disassembly. You may not reverse engineer, decompile, or disassemble the SOFTWARE, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation.

- Single System. The SOFTWARE is licensed for use solely with the SYSTEM.

同意します

同意しません

戻る

続行

7. [HPE エンドユーザー使用許諾契約書]を読み、[同意します]を選択して Hewlett Packard Enterprise の使用許諾契約書に同意して [続行]をクリックします。
8. [補助ソフトウェア]をクリックし、Hewlett Packard Enterprise が使用する、補助ライセンスが適用されるすべての他社製ソフトウェアを選択します。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

HPEエンドユーザー使用許諾契約書

1. **適用の範囲** HPEエンドユーザー使用許諾契約書 (以下「本契約」)は付随するソフトウェアの使用 (ソフトウェアをインストール、保存、読み込み、実行及び表示)することをいいます。以下同じ)に適用されます。ただし、お客様 (個人又は一法人)とHewlett Packard Enterprise Company又はその関係会社 (以下総称して「日本HPE」)との間に別途契約がある場合を除きます。お客様は、ソフトウェアをダウンロード、複製又は使用することにより、本契約に同意したものとみなされます。日本HPEは本契約を英語以外のいくつかの言語に翻訳し、以下のサイトで公開しています。  
<http://www.hpe.com/software/SWLicenseing>

2. **条件** 本契約には、ソフトウェアライセンス情報、追加の使用許諾制限条項、ソフトウェア仕様、公開されている保証、サプライヤーの条件、オープンソースソフトウェアライセンス、それに類似した内容など、ソフトウェアに付随する又は日本HPEが参照する補足 書面 (以下「補足書面」)が含まれます。追加の使用許諾制限条項については以下を参照してください。  
<http://www.hpe.com/software/SWLicenseing>

3. **権限** お客様が別の個人又は法人の代理として本契約に同意する場合、正当な代理権限を有している

同意します

同意しません



9. [続行] をクリックします。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

This "Service Pack for ProLiant" includes open source and proprietary software developed or obtained through the third parties listed in the table below. More specifically, the developed or obtained code consists of the licensed Ancillary Software listed below. Installation, copying or otherwise using the Product (as defined in the End-User License Agreement) constitutes acceptance of the Ancillary Software license terms, whether or not such terms are reviewed.

HPE ALA	License Agreement
HPE Additional License Authorizations	<a href="#">License</a>

Ancillary Software	Third Party	License Agreement

戻る 続行

10. **[OSパーティションサイズ設定]**画面で、次のいずれかを選択して、オペレーティングシステムのパーティションサイズを設定します。
- **[Microsoft 推奨]**：このオプションでは、パーティションサイズがこのオペレーティングシステムエディションの最小推奨サイズに設定されます。
  - **[カスタム]**：このオプションでは、パーティションサイズを最小パーティションサイズ（20 GB）と最大ディスク容量の間に設定できます。
  - **[スクロールバー]**：このオプションは、カスタムディスク容量オプションの一部です。スクロールバーを最小パーティションサイズ（20 GB）と最大ディスク容量の間でドラッグして、希望のディスク容量を選択することもできます。
  - **[続行]**をクリックします。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

## OSパーティション サイズ設定

サーバー上のオペレーティングシステム専用のディスク容量を定義するオプションがあります。右側に一覧した2つのボタンはパーティションサイズの種類を指定します:

**Microsoft推奨:** このオペレーティングシステムのエディションのMicrosoft推奨サイズにパーティションサイズを設定します。

**カスタム:** 最小および最大値の間のパーティションサイズを設定します。デフォルトの最大値は、[カスタム]オプションの下にMB(メガバイト)単位で表示されます。変更するには、サイズバーを使用するか、メガバイト単位で値を入力します。例えば、10GBのパーティションの場合は、10240と入力してください。

**注:** ディスクのサイズを設定する場合は、ページング、ハイパーネーション、ダンプファイル、および他の用途で必要になるディスク容量を考慮してください。

Microsoft推奨

61440

カスタム

1429258



戻る 続行

11. **[ユーザー認証情報]** ページで、管理者パスワードを入力し、確認のために同じパスワードを再入力します。ヘルプについては、パスワード基準に関する **[ここをクリックするとヘルプが表示されます]** オプションをクリックします。

管理者パスワードは、以下の基準を満たしている必要があります。

- a. 8文字以上にする必要があります。
- b. 次の4つのカテゴリのうち少なくとも3つを含める必要があります。
  - 1) 大文字
  - 2) 小文字
  - 3) 数字
  - 4) 記号

**[続行]** をクリックします。





手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

ユーザー設定

パスワード

パスワードの確認

ここをクリックするとヘルプが表示されます。



戻る

続行

12. **[マイクロソフトソフトウェアライセンス条項]**を読み、**[同意します]**を選択して Microsoft 社のエンドユーザー使用許諾契約書に同意します。
13. **[続行]**をクリックします。

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定    手順2 ようこそ    手順3 Microsoft EULA    手順4 HPE EULA    手順5 ディスク設定    手順6 ユーザー認証情報    手順7 オペレーティングシステム情報

Microsoftオペレーティングシステムエンドユーザー使用許諾契約書

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス 条項

**MICROSOFT WINDOWS SERVER 2012 R2 ESSENTIALS**

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス 条項 (以下「本ライセンス 条項」といいます) は、お客様と以下の当事者との契約を構成します。

ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) をサーバーと共に頒布するサーバー製造業者 (以下「製造業者」といいます) または

本ソフトウェアをサーバーと共に頒布するソフトウェア インストール業者 (以下「インストール業者」といいます)

以下のライセンス 条項をお読みください。本ライセンス 条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録されたメディア (以下総称して「本ソフトウェア」といいます) に適用されます。また、本ライセンス 条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト 製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア

\* 同意します    ○ 同意しません

戻る    続行

14. [オペレーティングシステムの情報] ページで、インストールを続行する前に選択したオプションを確認し、[続行] をクリックしてインストールプロセスを起動します。



手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

## オペレーティングシステムの情報

オペレーティングシステム : Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials  
 Multilingual Pack : 英語 - 日本語 - 韓国語  
 Service Pack レベル : N/A  
 Service Pack for ProLiant / バージョン : SPP 2016.04.0 [http://www.hpe.com/jp/servers/spp\\_dl](http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl)  
 マネジメント エージェント バージョン : 7.5.43  
 インストールされたホットフィックス : KB3091044  
 HP ProLiantおよびWindows製品、サービスについての詳細は、<http://www.hpe.com/jp/info/windows> を参照してください。  
 \*Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.\*

日本語が選択されました。

[続行]をクリックしてインストールを開始します。



画面の指示に従います。キーボードまたはマウスからの入力、システムから指示があるときのみ行ってください。ソフトウェアのインストール中に、実行されている処理を説明する複数のステータス画面が表示されます。

- △ **注意:** インストールが終了すると、サーバーは再起動を要求します。インストール処理中は、決してサーバーの電源を切らないでください。インストール処理中にサーバーの電源を切ると、インストールが正しく行われず、オペレーティングシステムが再起動しない場合があります。

**注記:** インストールが完了した後に、以下の手順に従って、EULA を参照したり、印刷したりできます。

- ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの ボタンをクリックして、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[ブリインストール]、[Microsoft 使用許諾契約書]の順に選択します。
- ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard の場合、[スタート]ボタンをクリックし、↓ボタンをクリックしてから、[ブリインストール]、[Microsoft 使用許諾契約書]の順に選択します。

### 署名済みドライバー

オペレーティングシステムのインストール中に、署名されていないソフトウェアドライバーに関して注意のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ドライバーをインストールしようとする際に、「デジタル署名が見つかりません」という注意を示します。メッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、ドライバーを受け入れ、インストールを続行します。サーバーの再起動を求めるメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。オペレーティングシステムのインストール完了後に、<http://www.hpe.com/jp/support> にアク

セスして、サーバーの機種、モデル名、OS を選択し、次の画面で必要なドライバーを選択した後、言語選択のリストボックスから日本語を選択してダウンロードしてください。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード

オペレーティングシステムのインストール中に新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合があります。このウィザードが表示されたら、**[キャンセル]**をクリックします。

- ① **重要:** オペレーティングシステムのインストール中にドライバーをインストール**[しないでください]**。ドライバーのインストールが完了する前にサーバーが自動的に再起動する場合があります。この再起動によって、デバイスが正しくインストールされない場合があります。

不明なデバイスのドライバーをデバイスマネージャーでインストールするには、オペレーティングシステムのインストール後に、以下の手順に従ってください。

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの Windows キーを押して、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に押します。

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]**をクリックし、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に選択します。

1. 左の欄で、**[デバイスマネージャー]**を選択します。
2. 黄色のマークが表示されているコンポーネントを右クリックして、**[ドライバーソフトウェアの更新]**を選択します。
3. **[コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]**オプションをクリックします。
4. テキストボックスに次のパスを入力します。

C:\Drivers

**[サブフォルダーを含める]**を選択します。

5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[閉じる]**をクリックして、**[新しいハードウェアの検出ウィザード]**を終了します。

セットアップ処理が開始します。セットアップに必要な再起動などの処理がすべて完了するまで、セットアップ処理を中断したり、電源を切ったりしないでください。セットアップ処理が完了した後に、サーバーの設定を変更することができます。

- ① **重要:** システムは最初のログイン後にドライバーのインストールを完了する場合があります。**[初期構成タスク]**画面では操作を行わないでください。追加のドライバーがロードされると、次にシステムがログインプロンプトを表示するとき、次にログインするとき、および次に新しいオペレーティングシステムを使用するときに、ドライバーのインストールを完了して自動的に再起動します。

## 自動設定

セットアップ処理の一部は自動的に設定され、これらの設定画面は表示されません。設定済みの情報を変更する場合は、オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。後で変更しなければならない可能性がある自動設定のパラメーターは、次のとおりです。

- ライセンスモード – デフォルトでは、サーバーのライセンスモードは、各デバイスまたは各ユーザーで 5 台のデバイスまたは 5 人のユーザーに設定されています。ライセンスについて詳しくは、オンラインヘルプまたはオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。
- 管理者パスワード – 管理者パスワードは、初期セットアップ時にユーザーによって設定されます。インストールの完了後に管理者パスワードを変更する手順については、「**インストール後の作業**」(22 ページ)を参照してください。
- ダイナミックディスクアップグレード – オペレーティングシステムは、約 20 GB のパーティションにプリインストールされています。アレイドコントローラーでは、論理ドライブサイズがドライブの最大サイズに設定されています。ダイナミックディスクアップグレー

ドをサポートするために、アレイコントローラーの論理ドライブ上に 10~15 MB の空き容量があります。

---

**注記:** ダイナミックディスクアップグレードは、オプションです。ダイナミックディスクアップグレードについては、オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。ダイナミックディスクのアップグレード後は、システム修復ディスクをアップデートする必要があります。

---

## 6 インストール後の作業


### Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard

最初のソフトウェアインストールが完了した後にサーバーにログインするには、以下の手順に従ってください。

1. サーバーコンソールで、キーボードの **[Ctrl]+[Alt]+[Delete]** キーを押して、初期セットアップ時に設定したパスワードを入力します。
2. デフォルトでは、コンピューター名はデフォルト値に設定されています。デフォルト値は必要に応じて変更できます。

### Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard の管理者パスワードの変更

管理者パスワードを変更するには、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]** キーを押して **[パスワードの変更]** をクリックするか、以下の手順を完了します。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの  ボタンを押して、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]** の順に選択します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]** をクリックし、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]** の順に選択します。
3. **[システムツール]** ディレクトリから、**[ローカルユーザーとグループ]** ディレクトリを展開します。
4. **[ユーザー]** フォルダーをクリックします。
5. ウィンドウの右側に表示される **[Administrator]** を右クリックして、**[パスワードの設定]** を選択します。警告メッセージが表示されます。
6. **[続行]** をクリックして続行します。
7. **[新しいパスワード]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**[パスワードの確認入力]** フィールドにパスワードを再入力します。
8. **[OK]** をクリックします。
9. **[OK]** をクリックして処理を完了します。


**△ 注意:** 管理者パスワードは絶対に忘れないでください。サーバーの再設定には、このパスワードが必要です。

管理者パスワードの変更について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

### Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard の地域設定の変更

サーバーがデフォルトの地域設定に基づいて動作していない場合は、地域設定を変更します。地域設定は、キーボードの言語を変更し、ローカルフォーマットを選択することによって、指定した地域用の時刻、日付、数値、および通貨をソートして、表示できるようにするものです。


Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard の地域設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの  ボタンを押して、**[コントロールパネル]** を選択します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]** をクリックして、**[コントロールパネル]** を選択します。

3. **[時計、言語、および地域]**リンクの下の **[日付、時刻、または数値の形式の変更]**をクリックします。
4. **[管理]**タブをクリックします。
5. **[システムロケールの変更]**ボタンをクリックして一覧から **[ロケール]**を選び、正しいロケールを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。
7. **[入力言語の追加]**ウィンドウを選択するには、コントロールパネルに移動し、**[時計、言語、および地域]**オプションを選択します。
8. **[言語]**をクリックします。
9. **[言語の追加]**をクリックし、必要な言語を選択します。
10. **[追加]**をクリックします。
11. **[コントロールパネル]**を閉じます。

## Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard 用の Microsoft インターネットインフォメーションサービスのインストール

Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard 用の Microsoft インターネットインフォメーションサービス (IIS) をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの  ボタンを押して、**[管理ツール]**、**[サーバーマネージャー]**の順に選択します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]**をクリックし、**[管理ツール]**、**[サーバーマネージャー]**の順に選択します。
3. **[管理]**メニューで、**[役割と機能の追加]**をクリックします。
4. **[開始する前に]**ページで、インストールする役割と機能のために対象サーバーとネットワーク環境の準備が整っていることを確認します。**[次へ]**をクリックします。
5. **[インストールの種類を選択]**ページで、**[役割ベースまたは機能ベースのインストール]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
6. **[対象サーバーの選択]**ページで、サーバープールからサーバーを選択し、**[次へ]**をクリックします。
7. **[サーバーの役割の選択]**ページで、**[Web サーバー (IIS)]**を選択し、**[管理ツールを含める]**を選択して (必要な場合)、**[機能の追加]**をクリックします。
8. **[次へ]**をクリックします。
9. **[次へ]**をクリックします。
10. 情報を参照して、**[次へ]**をクリックします。
11. Web サーバー (IIS) をインストールするために必要なすべての役割サービスを選択します。
12. **[次へ]**をクリックします。
13. **[インストールオプションの確認]**ページで、**[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]**を選択し、**[インストール]**をクリックします。警告メッセージが表示されたら **[はい]**をクリックします。
14. **[閉じる]** をクリックして、IIS のインストールウィザードを完了します。
15. インストールが完了したら、**[サーバーマネージャー]**の左ペインから **[すべてのサーバー]**リンクをクリックしてインストールを確認し、Web サーバー (IIS) をインストールしたサーバーをサーバーマネージャーの右ペインから選択し、選択したサーバーのページの **[役割と機能]** タイルを表示します。

## Integrated Lights-Out 管理機能のインストール

- ① **重要:** Microsoft® ハードウェアウィザードは、iLO コントローラーをベースシステムデバイスとして検出します。**[ハードウェア]**ウィザードはドライバーのインストールが完了するまで、そのデバイスとして表示し続けます。


iLO コントローラーが取り付けられたサーバーを購入した場合は、以下の手順に従ってインストールを完了します。オペレーティングシステムのインストールが完了するまで、デバイスドライバーをインストールしないでください。

1. **[新しいハードウェアの検出ウィザード]**ウィンドウで、**[ドライバーソフトウェアを検索してインストールします]**をクリックします。
2. **[デバイスに最適なドライバーを検索する]**を選択します。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. **[場所を指定]**を選択し、**[フロッピーディスクドライブ]**と**[CD-ROM ドライブ]**を削除します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. テキストボックスに次のパスを入力します。  
C:\Drivers  
**[サブフォルダーを含める]**を選択します。
7. **[OK]**をクリックします。
8. **[ドライバーファイルの検索]**画面で **[次へ]**をクリックし、**[完了]**をクリックします。

## ディスクドライブの設定

オペレーティングシステムのインストール時にサーバー上で設定済みのドライブは、オペレーティングシステムがインストールされているプライマリ論理ドライブのみです。プライマリドライブには、パーティションが作成されていないスペースもあります。このパーティションが作成されていないスペースとサーバーに追加した他のディスクドライブを使用するには、**[ディスクアドミニストレーター]**を使用して事前にパーティションを作成してフォーマットしなければなりません。

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入した場合は、**「アレイコントローラーの設定」(34 ページ)**の手順を参照してください。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの  ボタンを押して、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に押します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]**をクリックし、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に選択します。
3. **[記憶域]**ディレクトリから、**[ディスクの管理]**を選択します。ウィンドウの右側にディスクと論理ドライブの情報が表示されます。
4. **[コンピューターの管理]**ウィンドウの右側下に、ACU/HPE SSA が作成した新しい論理ドライブが未割り当て領域として表示されない場合は、**[操作]**メニュー、**[ディスクの再スキャン]**の順にクリックします。
5. 右側下のパネルで、**[ディスク 1]**をクリックして、**[ディスクの初期化]**を選択します。
6. **[ディスクの初期化]**画面で、**[ディスク 1]**を選択して **[OK]**をクリックします。ディスクは、ベーシックディスクとして識別されます。
7. ディスク容量が示され**[未割り当て]**のラベルが付けられているボックスを右クリックし、**[新しいボリューム (シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5)]**を選択します。
8. **[新しいパーティションウィザード]**画面で、**[次へ]**をクリックします。
9. 最大ディスク容量を使用する場合は、**[次へ]**をクリックします。または**[パーティションサイズの指定]**画面で、必要なパーティションサイズを入力します。




10. [ドライブ文字またはバスの割り当て] 画面で、**[次へ]**をクリックしてデフォルトで割り当てられたドライブ文字を受け入れます。**[パーティションのフォーマット]**画面が表示されます。
11. ドライブをフォーマットするには、適切なファイルシステムフォーマット（デフォルトはNTFS）、**[アロケーションユニットサイズ]**を選択します。
  - a. ボリュームラベルを入力するか、またはデフォルトのラベルを受け入れます。
12. 必要に応じて、**[クイックフォーマットする]**および**[ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする]**を選択します。
13. ドライブをフォーマットしない場合は、**[このパーティションをフォーマットしない]**を選択します。
14. **[次へ]**をクリックします。
15. **[新しいパーティションウィザード]**画面で、**[完了]**をクリックします。フォーマットが完了した時点で、パーティションは選択したファイルシステムにフォーマットされ、**[正常]**のラベルが付けられます。

新しいハードディスクドライブの設定方法およびダイナミックディスクへのアップグレード方法について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

## 追加のページファイルの作成


追加のメモリまたはソフトウェアアプリケーションをサーバーにインストールする際に、c: driveの空き容量が残り少ないことを示すエラーメッセージがイベントログに表示されることがあります。この問題を解消するには、c: driveにあるアプリケーションを他のパーティションに移動させるか、追加のページファイルを他のパーティションに作成します。サーバーのメモリの総量をサポートするために、別のパーティションにページファイルを作成すると、もっとも効果的に問題を解消できます。

追加のページファイルを作成したら、起動パーティションにあるページファイルを、サーバーのメモリの総量と同じに設定します。ページファイルの作成について詳しくは、ヘルプを参照してください。ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 である場合は、

キーボードの  キーを押して、[スタート] ページの任意の場所を右クリックし、**[すべてのアプリ]**、**[Windows システムツール]**、**[ヘルプとサポート]**の順にクリックしてください。ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard の場合、[スタート] ボタンをクリックし、↓ボタンをクリックしてから、[Windows System ツール]の**[ヘルプとサポート]**を選択します。

## テープドライブのインストール

テープドライブを購入してサーバーで使用する場合、テープドライブのサポートドライバーを手動でインストールしなければならないことがあります。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、キーボードの  ボタンを押して、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**、**[デバイスマネージャー]**の順に押します。
 

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]**をクリックし、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**、**[デバイスマネージャー]**の順にクリックします。
2. テープデバイスを選択します。適切なドライバーをインストールするまで、テープドライブは、**[その他のデバイス]**カテゴリの疑問符(?) アイコンの下に示されます。疑問符は、認識されていないデバイスを示します。
3. テープデバイスを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
4. **[ドライバー]**タブをクリックして、**[ドライバーの更新]**をクリックします。**[ハードウェアの更新ウィザード]**が起動します。
5. **[コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]**をクリックします。

6. リストされていない場合、**[次の場所を含める]**フィールドに次のパスを入力します。

C:\DRIVERS

**[サブフォルダーを含める]**を選択します。

7. **[次へ]**をクリックします。ドライバーの検索結果に、適切なデバイスが表示されます。
  8. 間違ったデバイスが表示される場合は、**[戻る]**をクリックして、正しいデバイスを選択しなおします。
  9. **[次へ]**をクリックして、ドライバーをインストールします。
  10. **[閉じる]**、**[閉じる]**ボタンを順にクリックして、**[コンピューターの管理]**画面に戻ります。
- 以上でテープドライバーのインストールは完了です。これで**[コンピューターの管理]**画面の**[テープドライブ]**カテゴリにテープデバイスが表示されます。

## イベントログエラー

ProLiant インストールセッションユーティリティを終了した後に、特定のコントローラードライバーに関してイベントログエラーメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージはこの時点で予測されているもので、サーバーまたはオペレーティングシステムの性能には影響しません。表示される可能性のあるメッセージは、次のとおりです。

- The device, \Device\scsi\adpnl60ml, did not respond within the timeout period.
- The device, \Device\scsi\cpqfcalml, did not respond within the timeout period.
- Unable to read IO control information from NBT device. Refer to article #Q257760 on the Microsoft® website (<http://www.microsoft.com>).

## サーバーのバックアップ


ソフトウェアのインストールが完了してサーバーが動作可能になったら、テープバックアップシステムと認定されているテープバックアップソフトウェアを使用して、サーバーのバックアップを行ってください。

## ネットワークプロトコルの設定

TCP/IP、WBEM Provider、および AMS は自動的にインストールされます。サーバー用のマネジメントエージェントが Systems Insight Manager と通信するには、TCP/IP、Wbem Provider、および AMS が必要です。Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard および Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard では、TCP/IP を有効にしなければなりません。

## Microsoft Windows Server 2012 Standard/Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard のリモートアクセスサーバーのセットアップ

Microsoft® Windows Server™ 2012 Standard/Microsoft® Windows Server™ 2012 R2 Standard のリモートアクセスサーバー (RAS) をセットアップするには、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard である場合は、 ボタンをクリックして、**[コントロールパネル]**を選択します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Standard である場合、**[スタート]**ボタンをクリックして、**[コントロールパネル]**を選択します。
3. **[ネットワークとインターネット]**をクリックします。
4. **[ネットワークと共有センター]**をクリックします。
5. **[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**をクリックします。
6. 画面の指示に従ってセットアップを進めてください。

必要なネットワーク接続パラメーターについて詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

## Java Virtual Machine のインストール


一部の Web ページは、Internet Explorer 6.0 以降を使用して完全に、そして適切に表示させるために、Java™ Virtual Machine ユーティリティ (<http://www.java.com>) をダウンロードしてインストールする必要があります。たとえば、System Management Homepage から Web エージェントヘルプを表示させる場合、Java™ Virtual Machine がインストールされていないと、[ヘルプ] 画面の左カラムに表示されるべきテキストが正しく表示されません。

## BitLocker ドライブ暗号化の有効化

Windows® Server 2012 Standard/Windows® Server 2012 R2 Standard に BitLocker ドライブ暗号化をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. **[サーバーマネージャー]**から BitLocker 機能を追加して、サーバーを再起動します。
2. ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard である場合、オペレーティングシステムの起動後、管理者としてログインします。画面の右端からスワイプし、**[検索]** をタップ（または、マウスを使用する場合は画面の右上隅にポイントし、マウスポインターを下に移動して **[検索]** をクリック）し、検索ボックスに BitLocker と入力し、**[設定]** をタップまたはクリックしてから、**[BitLocker ドライブ暗号化]** をタップするかクリックして BitLocker ドライブ暗号化を開きます。
3. **[ユーザーアカウント制御]**ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して **[続行]** をクリックします。**[BitLocker ドライブ暗号化]** ページが表示されます。
4. **[BitLocker をオンにする]** をクリックすると、次のいずれかの警告が表示されます。
  - a. BitLocker encryption may have a performance impact on your server. ご使用の TPM (Trusted Platform Module) が初期化されていない場合は、**[TPM Security Hardware]** ウィザードが表示されます。指示に従って TPM を初期化します。変更を有効にするには、コンピューターを再起動またはシャットダウンする必要があります。
  - b. TPM (Trusted Platform Module) が使用できない場合、次のエラーメッセージが表示されます。This device cannot use a Trusted Platform Module. Your administrator must set the "Allow BitLocker without a compatible TPM" option in the "Require additional authentication at startup" policy for OS volumes.

この問題を解決するには、以下の手順に従ってください。

1.  **[+R]** キーを押して **[ファイル名を指定して実行]** コマンドにアクセスします。
2. 「MMC」と入力します。
3. **[ファイル]**、**[スナップインの追加と削除]** の順に選択します。
4. 利用できるスナップインのリストから **[グループポリシーオブジェクトエディター]** を選択し、**[追加]** をクリックして、選択されたスナップインのリストに移動させます。
5. **[ローカルコンピューター]** が選択されていることを確認して、**[完了]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。
7. **[ローカルコンピューターポリシー]**、**[コンピューターの構成]**、**[管理用テンプレート]**、**[Windows コンポーネント]**、**[BitLocker ドライブ暗号化]**、**[オペレーティングシステムのドライブ]** の順に展開し、**[スタートアップ時に追加の認証を要求する]** ポリシーを選択して有効にします。
8. **[Apply]**、**[OK]** をクリックします。
9. すべてのパスを閉じます。
10. **[ファイル]**、**[終了]** の順にクリックします（必要に応じて MMC コンソールを保存してください）。

5. コンピューターを再起動またはシャットダウンして変更を有効にし、手順2を繰り返します。
  6. **[BitLocker ドライブ暗号化]**ページで、スタートアップ時にドライブのロックを解除する方法を次のいずれかから選択します。
    - USB フラッシュドライブを挿入する
    - パスワードを入力する
  7. **[How do you want to back up your recovery key]** ページに、次のオプションが表示されます。
    - [USB フラッシュドライブに保存する] – パスワードを USB フラッシュドライブに保存します。
    - [ファイルに保存する] – パスワードをネットワークドライブ上または他の場所にあるファイルに保存します。
    - [回復キーを印刷する] – パスワードを印刷します。1つまたは複数のオプションを使用して、リカバリパスワードを保存します。各オプションでは、オプションを選択してウィザードの手順に従い、リカバリパスワードの保存場所を設定するか、印刷してください。
  8. リカバリパスワードを保存したら、**[次へ]**をクリックします。**[Encrypt the selected disk volume]** ページが表示されます。
- 
- ① **重要:** 暗号化されたディスクを他のコンピューターに移動した場合や、システムのスタートアップ情報が変更された場合に、リカバリパスワードが必要になります。パスワードの複数のコピーを作成してコンピューターから離れた安全な場所に保管し、データに確実にアクセスできるようにしておくことをおすすめします。BitLocker がロック状態になった場合、ボリューム上の暗号化されたデータのロックを解除するには、リカバリパスワードが必要です。このリカバリパスワードは、特定の BitLocker 暗号化にのみ有効なものです。他の BitLocker 暗号化セッションで暗号化されたデータの復元には使用できません。
- 
9. **[Choose how much of your drive to encrypt]** ページで、**[disk encryption]** オプションを選択し、**[次へ]**をクリックします。
  10. **[BitLocker システムの実行]** チェックボックスが選択されていることを確認して、**[続行]** をクリックします。
  11. **[今すぐ再起動する]** をクリックします。コンピューターが再起動して、そのコンピューターが BitLocker に対応しており、暗号化を開始できるかどうかを BitLocker が検証します。
  12. 対応していない場合は、問題点を警告するエラーメッセージが表示されます。

暗号化を開始できる場合は、**[暗号化しています]** ステータスバーが表示されます。画面下部の通知エリアにある **[BitLocker Drive Encryption]** アイコンにマウスカーソルを移動すると、ディスクボリューム暗号化の進捗状況を監視できます。

この手順が完了すると、確実に、オペレーティングシステムのボリュームが暗号化され、そのボリュームにのみ有効なリカバリパスワードが作成されます。次のログイン時には、目に見える変更はありません。TPM が変更された場合やアクセスできない場合、キーシステムファイルが変更された場合、またはオペレーティングシステムではなく製品 CD や DVD からコンピューターを起動しようとした場合に、コンピューターはリカバリモードに切り替わり、リカバリパスワードが入力されるまで解除されません。

BitLocker について詳しくは、Microsoft® 社の Web サイト (<http://technet.microsoft.com/en-us/library/hh831713.aspx>) を参照してください。

# Hyper-V のインストール（Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard の場合）

Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard 用の Hyper-V をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. **[スタート]**をクリックし、**[サーバーマネージャー]**をクリックします。
2. **[管理]**メニューで、**[役割と機能の追加]**をクリックします。
3. **[開始する前に]**ページで、インストールする役割と機能のために対象サーバーとネットワーク環境の準備が整っていることを確認してから、**[次へ]**をクリックします。
4. **[インストールの種類を選択]**ページで、**[役割ベースまたは機能ベースのインストール]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
5. **[対象サーバーの選択]**ページで、**[サーバープールからサーバーを選択]**または**[仮想ハードディスクから選択]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
6. **[サーバーの役割の選択]**ページで、**[Hyper-V]**を選択します。
7. 仮想マシンの作成および管理に使用するツールを追加するには、**[機能の追加]**をクリックします。**[役割と機能の追加]**ウィザードで、**[次へ]**をクリックします。
8. **[次へ]**をクリックします。
9. メモを参照して、**[次へ]**をクリックします。
10. **[仮想スイッチの作成]**ページで、ネットワークアダプターを選択して、仮想スイッチと通信します。**[次へ]**をクリックします。
11. **[移行]**ページで、**[許可]**を選択すると、サーバーの仮想マシンおよび認証プロトコルのライブ移行の送受信が（必要に応じて）許可されます。
12. **[次へ]**をクリックします。
13. **[既定の保存場所]**ページで、必要に応じて仮想ハードディスクと仮想マシン構成ファイルのデフォルトの場所を変更し、**[次へ]**をクリックします。
14. **[インストールオプションの確認]**ページで、**[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]**を選択します。警告メッセージが表示されたら**[はい]**をクリックして確認してから、**[インストール]**をクリックします。
15. インストールが完了したら、サーバーを再起動します。

インストールが完了したら、サーバーマネージャーの左ペインから**[すべてのサーバー]**リンクをクリックしてインストールを確認し、Hyper-V をインストールしたサーバーをサーバーマネージャーの右ペインから選択し、選択したサーバーのページの**[役割と機能]**タイルを表示します。

# 7 Hewlett Packard Enterprise メディアを使用した、Windows Server 2012 Standard および Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムの仮想マシンへのインストール

## Windows Server 2012 Standard/Windows Server 2012 R2 Standard へのゲストオペレーティングシステムのインストール

### Hewlett Packard Enterprise プリインストール ProLiant サーバーまたは Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD からインストールされた ProLiant サーバーの場合

Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD からフルインストールモードで Microsoft® Hyper-V 上にゲストオペレーティングシステムをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホストサーバーに Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 をフルインストールモードでインストールします。
2. **[サーバーマネージャー]**を使用して Hyper-V サーバーの役割を有効にします。
3. ゲストオペレーティングシステムが Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 である場合は、コマンドプロンプトから次のコマンドを実行します。

---

**注記:** 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに 17 個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

---

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows  
NT\CurrentVersion\Virtualization" /v BiosLockString /t REG_SZ /d  
"Hewlett-Packard"
```

レジストリキーの上書きを求められたら、**[はい]**を選択します。

ゲストオペレーティングシステムを Microsoft® Hyper-V に Server Core モードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 である場合は、Install-WindowsFeature Hyper -V -IncludeManagementTools -Restart コマンドを使用して Microsoft® Hyper-V をインストールします。

1. サーバーを再起動し、変更を有効にします。
2. ゲストオペレーティングシステムが Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 である場合、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

---

**注記:** 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに 17 個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

---

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows  
NT\CurrentVersion\Virtualization" /v BiosLockString /t REG_SZ /d  
"Hewlett-Packard"
```

レジストリキーの上書きを求められたら、**[はい]**を選択します。

3. 作成した仮想マシンに、適切な Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 オペレーティングシステムメディアまたは Hewlett Packard Enterprise ブランドの

Windows Server 2012 R2 オペレーティングシステムメディアをマッピングし、オペレーティングシステムのインストールを開始します。

## Hewlett Packard Enterprise ブランドでない Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD の場合

Hewlett Packard Enterprise ブランドのメディアを使用して、ゲストオペレーティングシステムを Microsoft® Hyper-V にフルインストールモードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホストサーバーに Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 をフルインストールモードでインストールします。
2. サーバーマネージャーを使用して **[Hyper-V server role]** を有効にします。
3. ゲストオペレーティングシステムが Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server® 2012/Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server® 2012 R2 である場合は、コマンドプロンプトから次のコマンドを実行します。

---

**注記:** 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに 17 個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

---

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows  
NT\CurrentVersion\Virtualization" /v BiosLockString /t REG_SZ /d  
"Hewlett-Packard"
```

レジストリキーの上書きを求められたら、**[はい]**を選択します。

4. 作成した仮想マシンに、適切な Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 オペレーティングシステムメディア/Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 R2 オペレーティングシステムメディアをマッピングし、オペレーティングシステムのインストールを開始します。

Hewlett Packard Enterprise ブランドのメディアを使用して、ゲストオペレーティングシステムを Microsoft® Hyper-V に Sever Core モードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. 次のコマンドを使用して Microsoft® Hyper-V をインストールします。  
ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 である場合は、Install-WindowsFeature Hyper -V -IncludeManagementTools -Restart コマンドを使用して Microsoft® Hyper-V をインストールします。
2. サーバーを再起動し、変更を有効にします。
3. ゲストオペレーティングシステムが Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 である場合は、コマンドプロンプトから次のコマンドを実行します。

---

**注記:** 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに 17 個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

---

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows  
NT\CurrentVersion\Virtualization" /v BiosLockString /t REG_SZ /d  
"Hewlett-Packard"
```

レジストリキーの上書きを求められたら、**[はい]**を選択します。

4. 作成した仮想マシンに、適切な Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 オペレーティングシステムメディア/Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 R2 オペレーティングシステムメディアをマッピングし、オペレーティングシステムのインストールを開始します。

## Hewlett Packard Enterprise ブランドの、または Hewlett Packard Enterprise ブランドでない Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 メディア DVD の Smart Start/Intelligent Provisioning の自動インストールの場合

1. オペレーティングシステムのインストールが完了したら、コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。

**注記:** 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに 17 個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows  
NT\CurrentVersion\Virtualization" /v BiosLockString /t REG_SZ /d  
"Hewlett-Packard"
```

レジストリキーの上書きを求められたら、**[はい]**を選択します。

2. **[サーバーマネージャー]**を使用して Hyper-V サーバーの役割を有効にします。
3. 作成した仮想マシンに、Hewlett Packard Enterprise ブランドの、または Hewlett Packard Enterprise ブランドでない Windows Server 2012/Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows Server 2012 R2 のオペレーティングシステムメディアをマッピングし、オペレーティングシステムのインストールを開始します。

## VMware 仮想マシンでのインストール

1. Windows® 2012 R2 Standard での VMware のインストールと構成については、**VMware のドキュメント** を参照してください。
2. 仮想マシンを作成したら、作成したパスに移動し、<VM guest name>.vmx ファイルをメモ帳で開いて次の行を追加します。  

```
smbios.ReflectHost = "TRUE"
```
3. ファイルを保存して終了します。
4. Hewlett Packard Enterprise ブランドの Windows® OS メディアを作成した仮想マシンにマッピングし、OS のインストールを開始します。



# 8 HPE ProLiant シリーズサーバーのインストール後の作業

## Web ベースマネジメントユーティリティ (HPE System Management Homepage)

Web ベースマネジメントユーティリティ (管理者プロファイルのデスクトップ上にショートカットリンクがあります) にログインするには、ローカル管理者アカウントおよびパスワードを使用してください。アカウントのログイン名は、次のフォーマットで入力する必要があります。


domain name\login name

マネジメントページを適切に表示させるには、より高い表示解像度に変更する必要があります。

## HPE マネジメントエージェントのインストール

- ① **重要:** セキュリティ上の理由により、パスワードを設定するには、64 ビットの暗号化されたパスワード証明書を最初に取得してください。パスワード証明書は、Systems Insight Manager の証明書サーバーから取得できます。証明書を設定して取得する方法については、<http://www.hpe.com/info/hpsim-manuals> を参照してください。

マネジメントエージェントをインストールするには、以下の手順に従ってください。

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 である場合は、キーボードの  キーを押して、**[スタート]** ページの任意の場所を右クリックし、**[すべてのアプリ]**、**[プリインストール]**、**[Service Pack for ProLiant]** の順にクリックします。

ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 である場合は、**[スタート]** ボタンをクリックし、**[I]** ボタンをクリックして、**[プリインストール]**、**[Service Pack for ProLiant]** の順に選択します。

セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。インストール時にユーザーの認証情報の入力が必要となる場合があります。

マネジメントエージェントについては、『**Insight マネジメントエージェントユーザーガイド**』を参照してください。

## ネットワークチーミングおよび設定ユーティリティのインストール


ネットワークコンフィギュレーションユーティリティを使用すると、複数の同一の NIC をチーム化することができます。ネットワークコンフィギュレーションユーティリティをインストールするには、HP Smart Update Manager を実行する必要があります。

ネットワークコンフィギュレーションユーティリティソフトウェアのインストールプロセス中に、**the CPQTEAM.DLL file is needed.** というメッセージが表示される場合があります。デフォルトのパスがメッセージボックスに表示されます。**[OK]** をクリックしてパスを受け入れ、インストールを続行します。

## HP Smart Update Manager (HP SUM) の使用

オペレーティングシステム用の HP SUM は、サーバーソフトウェアがインストールされるときに自動的にインストールされます。このソフトウェアには、ProLiant サーバー製品の特定の機能を活用するデバイスドライバーとユーティリティが含まれています。これらのドライバーは、ProLiant ハードウェアでのみ使用できます。

HP SUM を起動するには、以下の手順に従ってください。

Windows Server 2012 Standard オペレーティングシステムの場合は、キーボードの  ボタンを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant] の順にクリックします。

Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムの場合は、[スタート]メニューをクリックし、↓ボタンをクリックしてから、プリインストールの [Service Pack for ProLiant] の順に選択します。

セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。インストール時にユーザーの認証情報の入力が必要となる場合があります。

HP SUM を手動で起動するには、以下の手順に従ってください。

- HP SUM を格納するディレクトリに移動します。
- HPSum.bat ファイルを右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。


HP SUM を手動で起動する方法については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) で入手できる『HP Smart Update Manager ユーザーガイド』を参照してください。

## アレイコントローラーの設定

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入した場合は、オンライン ACU/HPE SSA を実行して、残りの物理ドライブを使用できるようにセットアップしてください。

- ① **重要:** ACU を実行するには、Microsoft® Internet Explorer が必要です。Internet Explorer は、アレイコントローラーとのインターフェイスとして使用されます。ページを適切に表示するには、サーバーの IP アドレスを信頼済みサイトの一覧に含める必要があります。設定を有効にするには、IP アドレスを信頼済みサイトの一覧に追加した後に、Internet Explorer を再起動する必要があります。

アレイコントローラーを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. Windows Server 2012 オペレーティングシステムの場合は、キーボードの  ボタンを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[HP システムツール]、[HPE Smart Storage Administrator] の順にクリックします。  
Windows Server 2012 R2 Standard オペレーティングシステムの場合は、[スタート]をクリックし、↓ボタンをクリックしてから、[すべてのアプリ]、[HP システムツール]、[HPE Smart Storage Administrator] の順にクリックします。
2. 残りの物理ドライブを論理ドライブに設定します。ディスクの管理を実行して、追加のドライブスペースのパーティション作成とフォーマットを行います。  
ACU/HPE SSA の使用については、<http://www.hpe.com/servers/ssa>（英語）を参照してください。

## マネジメントエージェントの使用

マネジメントエージェント for サーバーは、セットアップ処理中にインストールされます。マネジメントエージェントについては、『[Insight マネジメントエージェントユーザーガイド](#)』を参照してください。

# A トラブルシューティング

## オペレーティングシステムの再インストール

サーバーのオペレーティングシステムが壊れた場合は、SmartStart DVD または Intelligent Provisioning、HPE Management DVD、および Hewlett Packard Enterprise ブランドバージョンの Microsoft® Windows® オペレーティングシステム DVD を使用して再インストールしてください。

オペレーティングシステムを再インストールするには、SmartStart DVD または Intelligent Provisioning を使用してサーバーを起動し、画面に表示されるインストールの指示に従ってください。

- △ **注意:** SmartStart DVD から起動すると、ディスクドライブの現在のディスクパーティションとデータが永久に失われます。

SmartStart または Intelligent Provisioning によるインストールについては、サーバーに付属の ProLiant Essentials Foundation Pack を参照してください。

また、Hewlett Packard Enterprise ブランドバージョンの Microsoft® Windows® オペレーティングシステム DVD からサーバーを起動することで、オペレーティングシステムを再インストールできます。インストールプロセス中に、該当するストレージドライバーを入手するために、F6 キーを押すように求めるメッセージが表示される場合があります。その場合、ストレージドライバーは SmartStart DVD または **Hewlett Packard Enterprise のテクニカルサポートの Web サイト** から入手できます。

## 9 サポートと他のリソース

### Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。  
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

#### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

### アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
  - 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
    - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：  
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
    - Software Depot の Web サイト：  
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
  - お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
- 
- ① **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。
-

## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">http://www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpesc">http://www.hpe.com/support/hpesc</a>
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Software Depot	<a href="http://www.hpe.com/support/softwaredepot">http://www.hpe.com/support/softwaredepot</a>
カスタマーセルフリペア	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">http://www.hpe.com/support/selfrepair</a>
Insight Remote Support	<a href="http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs">http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</a>
HP-UX 用の Serviceguard ソリューション	<a href="http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs">http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">http://www.hpe.com/storage/spock</a> (英語)
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">http://www.hpe.com/storage/whitepapers</a>

## Hewlett Packard Enterprise カスタマーサポート

Hewlett Packard Enterprise カスタマーサポートは、ソフトウェアサポート、および統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートサービスを提供します。詳しくは以下のリンクを参照してください。

- ソフトウェアサポートサービス (<http://www.hpe.com/services/insight-ja>) – オペレーティングシステムおよび幅広い Microsoft® アプリケーションには、3つのインシデントおよび平日営業時間内の標準電話サポートが含まれます。
  - ハードウェアサポート (<http://www.hpe.com/services/insight-ja>) – サーバー向けに1連のハードウェアサポートサービスが利用可能です。
  - サポートプラス (<http://www.hpe.com/services/insight-ja>) – サーバー向けに1年の統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートが含まれます。
  - 90日間の使用開始時のソフトウェア電話サポート – ProLiant サーバー向けに、Hewlett Packard Enterprise でプリインストールされたサードパーティ製ソフトウェアのテクニカルアドバイスサポート (インストールアシスタンスを含む) が、購入後90日間、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com>) または電話で利用可能です。
- ① **重要:** お客様に出荷された Hewlett Packard Enterprise ハードウェアおよびソフトウェア構成のみがサポートされます。

## カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製

品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

**<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>**

## B 頭字語と略語

<b>ACU</b>	Array Configuration Utility。アレイコンフィギュレーションユーティリティ
<b>AMS</b>	Agentless Management Service
<b>COA</b>	Certificate of Authenticity。出所に関する証明書
<b>CPQTEAM</b>	Network Teaming and Configuration。ネットワークチームングおよび設定
<b>EFI</b>	Extensible Firmware Interface
<b>EULA</b>	End User License Agreement。エンドユーザー使用許諾契約書
<b>HP SUM</b>	HP Smart Update Manager
<b>HPE IP</b>	HPE Intelligent Provisioning
<b>HPE SSA</b>	HPE Smart Storage Administrator
<b>IIS</b>	Internet Information Services
<b>iLO</b>	Integrated Lights-Out
<b>IP</b>	Internet Protocol。インターネットプロトコル
<b>NIC</b>	Network Interface Controller。ネットワークインターフェイスコントローラー
<b>NTFS</b>	NT File System
<b>PCI</b>	Peripheral Component Interface。周辺装置接続インターフェイス
<b>RAS</b>	Remote Access Service。リモートアクセスサービス
<b>TCP/IP</b>	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
<b>UEFI</b>	Unified Extensible Firmware Interface

# 索引

## B

BitLocker ドライブ暗号化の有効化, 27

## H

Hewlett Packard Enterprise への問い合わせ, 36  
Hewlett Packard Enterprise メディアを使用した、  
Windows Server 2012 Standard および Windows Server  
2012 R2 Standard オペレーティングシステムの仮想マ  
シンへのインストール, 30  
HPE ProLiant 300 シリーズサーバーのインストール後  
の作業, 33

## J

Java Virtual Machine のインストール, 27

## M

Microsoft Windows Server 2012 Standard/Microsoft  
Windows Server 2012 R2 Standard のリモートアクセ  
スサーバーのセットアップ, 26

## V

VMware 仮想マシンでのインストール, 32

## W

Web サイト, 37  
カスタマーセルフリペア, 37

## あ

アクセス  
アップデート, 36  
新しいハードウェアの検出ウィザード, 20  
アップデート  
アクセス, 36

## い

インストール  
オペレーティングシステムのインストール  
windows server 2012 standard, 9  
オペレーティングシステムのインストール前に, 9  
インストール後の作業  
Lights-Out 管理機能のインストール, 24  
Windows Server 2012 Standard および Windows  
Server 2012 R2 Standard, 22  
Windows Server 2012 Standard の管理者パスワード  
の変更, 22  
Windows Server 2012 Standard の地域設定の変更, 22  
Windows Server 2012 用の Microsoft インターネット  
インフォメーションサービス (IIS) のインストー  
ル, 23  
イベントログエラー, 26  
サーバーのバックアップ, 26  
追加のページファイルの作成, 25  
ディスクドライブの設定, 24  
テープドライブのインストール, 25  
ネットワークプロトコルの設定, 26

## か

カスタマーセルフリペア, 37

## さ

サポート  
Hewlett Packard Enterprise, 36

## し

自動設定, 20  
情報の収集  
出所に関する証明書, 8  
署名済みドライバー, 19

## と

トラブルシューティング, 35

## り

リモートサポート, 37